

動物看護学 最終確認テスト問題

問題1: 動物看護記録の目的について正しい組み合わせはどれか。

- 行った看護の内容や動物の様子を獣医師や他スタッフへ伝える。
- 動物の変化を明らかにする。
- 評価、研究、看護の質の改善に役立つ。
- 年に一度、保健所へ提出する。
- 必要に応じて看護の証拠書類となる。

- ① a, c
- ② a, b, c
- ③ a, b, c, e
- ④ a, c, d, e
- ⑤ a, b, c, d, e

問題2: 動物看護師が看護により解決できる問題を効果的に取り上げ、解決していくために行う活動は何か。

- ① 看護過程
- ② 看護改善
- ③ 看護管理
- ④ 看護研究
- ⑤ 看護分析

問題3: 犬の保定について最も適切なのはどれか。

- ① 保定の基本は頸、肩、腰の3点をおさえることである。
- ② 攻撃的な犬に対してはまず手で顔面をなでて落ち着かせる。
- ③ 怖がっている動物には体をあまり近づけないで保定する。
- ④ エリザベスカラーを装着すると犬はおとなしくなるため、一般に保定は必要ない。
- ⑤ 採血時の保定では針を抜いたら直ちに保定を解除する。

問題4: 看護記録に記入する客観的データについて正しいのはどれか。

- ① 担当獣医師の診断
- ② 飼い主が動物の様子について訴えたこと。
- ③ 主観的データをもとに判断したこと。
- ④ 身体検査や生化学検査の結果得られたデータ
- ⑤ 飼い主の訴えに対し自分が考えたこと。

問題5: 動物看護過程の展開として正しいのはどれか。

- ① アセスメント→動物看護計画の作成→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護の実践→反省
- ② アセスメント→評価→個別の動物看護計画作成→動物看護の実践→問題点の抽出(動物看護診断)
- ③ 動物看護の実践→問題点の抽出(動物看護診断)→アセスメント→動物看護計画の作成→反省
- ④ アセスメント→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護計画の作成→動物看護の実践→評価
- ⑤ 動物看護計画の作成→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護の実践→アセスメント→評価

問題6: 動物看護の目的について正しいものはどれか。

- ① 動物病院で治療を受ける動物の鎮痛に対処する。
- ② 獣医師が治療する際、指示されたことが実施できる。
- ③ 入院動物の看護に携わる。
- ④ 動物の全ての生活ステージにおいて支える。
- ⑤ 公衆衛生や保健衛生について飼い主に指導する。

問題7: 「動物看護師の倫理綱領」について正しいのはどれか。

- ① 動物看護者の倫理綱領は、日本獣医師会によって作成され発表された。
- ② 動物看護師の倫理綱領は、動物看護師を育成する獣医師のために作成された。
- ③ この倫理綱領は、動物看護師の心得であり、指針である。
- ④ 動物看護師を守るための法律はないが、この倫理綱領はそれに匹敵する法令のため守る義務がある。
- ⑤ 「動物看護者の倫理綱領」は家庭飼育動物の看護のためにあるので、実験動物や産業動物には適用されない。

問題8: 動物看護を実践するとき正しいのはどれか。

- ① 動物看護師自身が自信のない技術であっても、練習を重ねて上達することが重要なので生体を実施する。
- ② 適用した効果と結果について観察をし、動物の反応全体をとらえて評価する。
- ③ 動物に看護実践する際は、すべて必ずマニュアル通りに実施することが重要である。
- ④ 動物にとって恐怖や不快であったとしても飼い主からの依頼であれば継続する。
- ⑤ 飼い主とのコミュニケーションが苦手な場合、院長先生に任せたほうがよい。

問題9: 望まれる動物看護師として正しいのはどれか。

- ① 自覚をもつこと。
- ② 仕事を遂行していれば、マナーは重要ではない。
- ③ 動物看護師の資格を取得したので、その後のセミナーや学会などで学び続ける必要はない。
- ④ 動物に対してだけ思いやる心があればよい。
- ⑤ 自分の得意とする仕事だけを選んでする。

問題10: 動物看護師の役割として正しいのはどれか。

- ① 病気にあった療法食を選び出し、処方とアドバイスをする。
- ② 飼い主の主訴に基づいて診断をする。
- ③ 動物看護師として働いて長いので、治療をしてもよい。
- ④ 動物の健康指導のアドバイスをする。
- ⑤ フードや薬品の賞味期限、使用期限管理は動物看護師の仕事ではない。

問題11: 注射法(投薬法)とその略語の組み合わせとして正しいのはどれか。

- ① 経口投与……P O
- ② 皮下注射……I P
- ③ 筋肉内注射……I V
- ④ 静脈内注射……I M
- ⑤ 腹腔内注射……S C

問題12: 薬の投薬法のなかで、薬剤の作用が最も早く発現するものはどれか。

- ① 皮下注射
- ② 直腸投与(座薬)
- ③ 静脈注射
- ④ 経口投与
- ⑤ 筋肉内注射

*** 出問参考図書など: 動物看護コアテキスト 動物看護の基礎 5(ファームプレス社)
動物看護師統一認定試験対策過去問題集 (インターズー)
2014年度動物看護師統一認定試験問題より2問**

動物看護学 最終確認テスト問題 正答

問題1: 動物看護記録の目的について正しい組み合わせはどれか。

- 行った看護の内容や動物の様子を獣医師や他スタッフへ伝える。
- 動物の変化を明らかにする。
- 評価、研究、看護の質の改善に役立つ。
- 年に一度、保健所へ提出する。
- 必要に応じて看護の証拠書類となる。

- ① a, c
- ② a, b, c
- ③ a, b, c, e
- ④ a, c, d, e
- ⑤ a, b, c, d, e

問題2: 動物看護師が看護により解決できる問題を効果的に取り上げ、解決していくために行う活動は何か。

- ① 看護過程
- ② 看護改善
- ③ 看護管理
- ④ 看護研究
- ⑤ 看護分析

問題3: 犬の保定について最も適切なのはどれか。

- ① 保定の基本は頸、肩、腰の3点をおさえることである。
- ② 攻撃的な犬に対してはまず手で顔面をなでて落ち着かせる。
- ③ 怖がっている動物には体をあまり近づけないで保定する。
- ④ エリザベスカラーを装着すると犬はおとなしくなるため、一般に保定は必要ない。
- ⑤ 採血時の保定では針を抜いたら直ちに保定を解除する。

問題4: 看護記録に記入する客観的データについて正しいのはどれか。

- ① 担当獣医師の診断
- ② 飼い主が動物の様子について訴えたこと。
- ③ 主観的データをもとに判断したこと。
- ④ 身体検査や生化学検査の結果得られたデータ
- ⑤ 飼い主の訴えに対し自分が考えたこと。

問題5: 動物看護過程の展開として正しいのはどれか。

- ① アセスメント→動物看護計画の作成→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護の実践→反省
- ② アセスメント→評価→個別の動物看護計画作成→動物看護の実践→問題点の抽出(動物看護診断)
- ③ 動物看護の実践→問題点の抽出(動物看護診断)→アセスメント→動物看護計画の作成→反省
- ④ アセスメント→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護計画の作成→動物看護の実践→評価
- ⑤ 動物看護計画の作成→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護の実践→アセスメント→評価

問題6: 動物看護の目的について正しいものはどれか。

- ① 動物病院で治療を受ける動物の鎮痛に対処する。
- ② 獣医師が治療する際、指示されたことが実施できる。
- ③ 入院動物の看護に携わる。
- ④ 動物の全ての生活ステージにおいて支える。
- ⑤ 公衆衛生や保健衛生について飼い主に指導する。

問題7: 「動物看護師の倫理綱領」について正しいのはどれか。

- ① 動物看護者の倫理綱領は、日本獣医師会によって作成され発表された。
- ② 動物看護師の倫理綱領は、動物看護師を育成する獣医師のために作成された。
- ③ この倫理綱領は、動物看護師の心得であり、指針である。
- ④ 動物看護師を守るための法律はないが、この倫理綱領はそれに匹敵する法令のため守る義務がある。
- ⑤ 「動物看護者の倫理綱領」は家庭飼育動物の看護のためにあるので、実験動物や産業動物には適用されない。

問題8: 動物看護を実践するときに正しいのはどれか。

- ① 動物看護師自身が自信のない技術であっても、練習を重ねて上達することが重要なので生体を実施する。
- ② 適用した効果と結果について観察をし、動物の反応全体をとらえて評価する。
- ③ 動物に看護実践する際は、すべて必ずマニュアル通りに実施することが重要である。
- ④ 動物にとって恐怖や不快であったとしても飼い主からの依頼であれば継続する。
- ⑤ 飼い主とのコミュニケーションが苦手な場合、院長先生に任せたほうがよい。

問題9: 望まれる動物看護師として正しいのはどれか。

- ① 自覚をもつこと。
- ② 仕事を遂行していれば、マナーは重要ではない。
- ③ 動物看護師の資格を取得したので、その後のセミナーや学会などで学び続ける必要はない。
- ④ 動物に対してだけ思いやる心があればよい。
- ⑤ 自分の得意とする仕事だけを選んでする。

問題10: 動物看護師の役割として正しいのはどれか。

- ① 病気にあった療法食を選び出し、処方とアドバイスをする。
- ② 飼い主の主訴に基づいて診断をする。
- ③ 動物看護師として働いて長いので、治療をしてもよい。
- ④ 動物の健康指導のアドバイスをする。
- ⑤ フードや薬品の賞味期限、使用期限管理は動物看護師の仕事ではない。

問題11: 注射法(投薬法)とその略語の組み合わせとして正しいのはどれか。

- ① 経口投与……P O
- ② 皮下注射……I P
- ③ 筋肉内注射……I V
- ④ 静脈内注射……I M
- ⑤ 腹腔内注射……S C

問題12: 薬の投薬法のなかで、薬剤の作用が最も早く発現するものはどれか。

- ① 皮下注射
- ② 直腸投与(座薬)
- ③ 静脈注射
- ④ 経口投与
- ⑤ 筋肉内注射

* 出問参考図書: 動物看護コアテキスト 動物看護の基礎 5(ファームプレス社)
動物看護師統一認定試験対策過去問題集 (インターズー)
2014年度動物看護師統一認定試験問題より2問